

— J A C S 創設 30 周年記念 —

第 64 回 消費者行動研究コンファレンス（オンライン）の概要

<統一論題>

消費者行動研究の 30 年

春の消費者行動研究コンファレンスの開催概要が決定しましたので、ご案内いたします。  
第 64 回はオンライン開催となり、コミュニケーション・メディア「Zoom」を基本ツールにリアルタイム（生中継型）で行います。

—開催概要—

開催日程：2022年5月14日（土）・15日（日）

ホスト校：専修大学

オンライン研究会：参加費：4,000円 [学生会員は2,000円] ※クレジットカード払い

◆事前申し込み制（当日参加はできませんのでご注意ください）

オンライン懇親会：参加費無料 ※オンライン研究会参加者のみ出席可 [詳細後日公開！](#)

◆テーマ別に複数のルームを用意します。

出入り自在でオンライン研究会参加者なら誰でも自由に参加できます。

参加申込方法：JACS Web サイト（<https://www.jacs.gr.jp/>）

※4月7日（木）より受付開始

参加申込締切： **5月9日（月）** 締切厳守

【第1日目】

10:30 – 10:35 開会の辞  
10:35 – 11:40 特集論文セッション  
口頭発表  
11:40 – 13:00 昼食／役員会  
13:00 – 14:40 統一論題  
15:00 – 16:30 パネルディスカッション  
16:45 – 17:30 会長講演  
17:30 – 18:30 会員総会  
18:45 – 20:15 オンライン懇親会

【第2日目】

10:30 – 12:30 自由論題研究報告①  
12:30 – 13:30 昼食休憩  
13:30 – 14:35 自由論題研究報告②  
14:35 – 14:55 休憩  
14:55 – 16:00 自由論題研究報告③  
16:00 – 16:15 閉会の辞

— J A C S 創設 30 周年記念 — 第 64 回消費者行動研究コンファレンス

＜統一論題＞「消費者行動研究の 30 年」

杉谷 陽子（上智大学）

日本消費者行動研究学会（JACS）は、1992年に創設され、今年、30周年の節目を迎えます。第64回コンファレンスは、「創設30周年記念コンファレンス」と位置づけ、統一論題テーマを「消費者行動研究の30年」といたしました。

JACSの設立趣意書にもあるように、消費者行動研究は、経済学、心理学、社会学、データサイエンス、脳科学など、多種多様な学問領域の概念や理論を援用・統合しながら研究知見を積み上げる、学際的研究領域であるという大きな特徴があります。一つの方法論に縛られることなく、多面的なアプローチから消費者の行動を解明しようとする学会の趣意が、様々な専門領域の研究者を歓迎し、他学会にはない有機的なディスカッションが積み重ねられてきました。これがJACSの魅力であり、30年間続いてきたJACSコンファレンスの魅力でもあると思います。

研究者や大学をめぐる環境は、常に変化しています。私が大学院生としてJACSに参加させていただくようになって以降、国際化の大きな流れや、研究倫理をめぐる方法論の厳格化など、少し前まで当たり前だと思っていたことが次々と塗り替わっていくのを目の当たりにしました。学会は、このような国内外の最新の情報を研究者同士で交換し、活発なディスカッションを通じて新しい研究の可能性を見出す貴重な場であり、今後も研究者にとってなくてはならない存在であり続けるでしょう。新型コロナウイルスの脅威を乗り越え、今その役割が改めて認識されていると感じます。

第64回コンファレンスの統一論題では、30周年の節目を記念し、JACSで長らく活躍されてきた歴代会長の先生方にご登壇いただきます。ちょうど10年前、創設20周年記念コンファレンスでは、第2代会長の中西正雄先生（関西学院大学・当時）、第3代会長の阿部周造先生（早稲田大学・当時）が基調講演をされました。今回はそのあとに会長を務められた、青木幸弘先生（学習院大学）、杉本徹雄先生（上智大学）、池尾恭一先生（慶應義塾大学名誉教授）（ご登壇順）にご講演をいただきます。前半は新倉貴士先生（法政大学）が司会として進行くださり、後半はパネリストとして議論に加わってくださいます。パネルディスカッションでは、和田充夫先生（慶應義塾大学名誉教授）にも司会としてご登壇いただきます。JACSの30年の歩みを振り返りながら、これからの消費者行動研究について、会員の皆様と貴重なディスカッションが出来ますことを楽しみにしております。

新型コロナウイルスの影響により、JACSでは2019年秋のコンファレンス（会場：神戸学院大学）を最後に、しばらくオンラインでの開催が続いております。対面開催のコンファレンスには、会員が一堂に会して直接に議論できるという魅力がありますが、一方で、物理的制約を超えたオンラインでの研究交流も、非常に有意義な経験をわれわれにもたらし続けてくれました。第64回大会でも、パソコン画面越しではございますが、皆様とお目にかかり、活発な議論が行われることを心から楽しみに思います。たくさんの会員のみなさまのご参加をお待ち申し上げます。

— 第21回 JACS—榎尾俊雄 論文プロポーザル賞 優秀賞 —

「シェアリング・エコノミー・サービスの利用が消費者の心理的幸福感に与える影響  
：消費者物質主義の視点から」

野村 拓也（学習院大学大学院）

この度は、第21回 JACS 榎尾俊雄論文プロポーザル賞優秀賞を賜りまして、誠にありがとうございます。大変光栄に思っております。コンファレンス運営スタッフの皆様や審査委員の先生方におかれましては、コロナ禍で一層お忙しい中、このような貴重な場を設けていただきましたこと厚く御礼申し上げます。

近年、シェアリング・エコノミー市場は急速に拡大しています。シェアリング・エコノミーのような、モノを所有せずに共有する消費形態の普及は、今日における消費者の脱・物質主義を象徴する現象として語られることが少なくありません。ここで物質主義とは、モノの所有や獲得が生活の中心であり人生の幸福や成功を表すと信じる価値観を意味します。

先行研究には、脱・物質主義の視点に立ち、消費者の物質主義傾向とシェアリング・エコノミーの利用意向が負の関係にあることを示すものがあります。一方、シェアリング・エコノミーには、さまざまなモノを一時的に獲得できる側面もあることから、むしろ物質主義傾向とは正の関係であることを主張する研究も出ています。これらの知見を踏まえると、物質主義傾向が強い消費者は、シェアリング・エコノミーに対して両価的な評価をもつ消費者として位置付けられると考えられます。

この度報告させていただいた研究は、物質主義傾向が強い消費者の複雑な消費者像をさらに鮮明にすることを目的としました。物質主義に関する先行研究をもとに仮説を導出し調査を実施した結果、物質主義傾向が強い消

費者と低い消費者の間では、シェアリング・エコノミー・サービスの利用意向に有意差はありませんでした。しかし、物質主義傾向が強い消費者の方が、(1)「本当は借りるのではなく買って所有したい」といった「サービスの利用に対する不本意さ」が強いこと、(2) 他者への推奨意向が低いこと、(3) 借りた製品の状態の保全や返却期限の遵守といったルールの遵守に対するモチベーションが低いことが明らかになりました。つまり、物質主義傾向が強い消費者は、低い消費者と同程度にシェアリング・エコノミー・サービスの顧客となる可能性がある一方で、サービス利用に対する不本意さ等を有するため、これらをうまく解決するようなマーケティング施策を模索する必要があると考えられます。

報告時には衣服を題材とした調査を実施していましたが、その後の調査で他の製品カテゴリでも同様の結果を確認しています。審査委員の先生方からいただいたご助言をしっかりと踏まえつつ、今後さらに調査を重ね、論文としてまとめる予定です。

最後になりますが、このような栄誉ある賞をいただくことができたのは、日頃お世話になっている多くの先生方からのご指導があったことです。特に、私の指導教員である上田隆穂先生（学習院大学）、研究会や講義でお世話になっている杉田善弘先生（学習院大学）と青木幸弘先生（学習院大学）に改めてこの場を借りて感謝を申し上げます。この度の受賞を励みに、今後は一層精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 10月1日より「特集論文（第2期）」公募を開始いたします テーマは「レビュー論文特集」です

『消費者行動研究』の特別号（2023年刊行予定）に掲載する特集論文を、来る10月1日より受付開始します。研究者・大学院生の方々からの多数のご応募を期待します。  
※詳しくは、学会 Website [コンファレンス] > [特集論文募集] をご覧ください。

### ●学会賞に「特集論文賞」が新設されました

各年の応募の中から、コンファレンス特集号セッションでの発表と、『消費者行動研究』特集論文に掲載された中から特に優秀な発表と論文を選定し、その著者に授与します。（受賞対象は学会員）

※詳しくは、学会 Website [学会案内] > [学会の概要] > [会則] をご覧ください。

## JACS の Website が新しくなりました！

学会 Website の利便性とセキュリティ向上を一層高めるため、サイト刷新担当委員の外川拓先生、赤松直樹先生を中心に、執行部・事務局担当理事で毎月意見交換を図り、本年2月中旬より暫定的に新しい Website が公開され、無事に2022年度より正式採用の運びとなりました。

<JACS Website> <https://www.jacs.gr.jp>

PC版ページと同じ URL でスマホ仕様でもご覧いただけます。皆様からも多くの貴重なご意見をいただきましたことを、この場を借りてお礼申し上げます。まだまだ改良の余地があるかと思われま。もしお気づきの点などがございましたら、適時、事務局までご意見をお寄せください。



※PC表示



※スマホ表示

### 学会費の「銀行振込」についてのお願い

会費納入に際しましては、事務局から郵送でお送りしている「郵便局の振込用紙」でのお振り込みをお願いしておりますが、銀行振込をご利用の場合、大学名や企業名などの「組織名」から入力されますと、振り込みました「個人名」が特定できないというケースが出てきます。「銀行振込」の際には、必ず「個人名」から記入していただきますよう、ご協力をお願い致します。

やむを得ず組織名から（または組織名のみ）の振込人名になる場合は、事務局まで e-mailにてご一報いただきますようお願い致します。

### ご所属・ご住所の変更についてのお願い

**★ご登録の所属先等が古いままで、更新されていない方が多く見受けられます。**

ご所属やご住所が変更となる際には、必ず JACS 事務局へご連絡ください。お手数ではございますがよろしくお願い致します。

なお、会費納入時、「郵便局の振込用紙」に変更箇所を明記されるケースが見受けられますが、変更のご連絡は、下記 JACS 事務局までお願い致します。

JACS Website( <https://www.jacs.gr.jp/> )からご自身でも直接変更可能ですので、是非ご活用ください。

### 新入会員の募集について

本学会への入会を希望される方は  
学会 Website ( <https://www.jacs.gr.jp/admit/> ) から  
入会申請を行ってください。

#### ●入会資格

##### [学術会員]

消費者行動の研究・教育に従事する大学の専任教員、大学院在籍者（在籍経験者を含む）、およびそれに準ずる者（文部省が学術研究団体と認める学会の正会員、大学の非常勤講師としての教歴を有する者、等）。

但し、学術会員 1 名の推薦が必要。

##### [賛助会員]

本学会の趣旨に賛同する法人および個人。

#### ●入会規定 <https://www.jacs.gr.jp/admit/>

#### ●年会費

※令和 3 年度（2021 年度）より

[学術会員]	12,000 円
（但し、大学院生は 5,000 円に減免）	
[賛助会員] 個人会員 1 口	5,000 円
法人会員 1 口	50,000 円

**★法人会員には会員特典がございます。**  
詳しくは「入会規定」をご覧ください。

### ●日本消費者行動研究学会（JACS）事務局のご案内●

（事務局） 神奈川大学 経営学部 津村将章研究室  
〒220-8739 横浜市西区みなとみらい 4-5-3  
Email: [jacs.assist@gmail.com](mailto:jacs.assist@gmail.com)

（事務取扱） 日本消費者行動研究学会 事務取扱  
〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13 4F  
一般社団法人 学会支援機構内  
Tel: 03-5981-6025 / Fax: 03-5981-6012  
Email: [jacs@asas-mail.jp](mailto:jacs@asas-mail.jp)



<JACS Website>

<https://www.jacs.gr.jp>